

# プレスリリース

2010年12月27日

日本クラウド・セキュリティ・アライアンス  
特定非営利活動法人  
ASP・SaaS インダストリー・コンソーシアム (ASPIC)

## 「解説クラウド・セキュリティ・ガイドンス」の公開 ～ CSA ガイドンスをもとにクラウドサービスを導入する場合の手引きと法律問題の解説～

日本クラウド・セキュリティ・アライアンス(略称、CSAJC)と特定非営利活動法人 ASP・SaaS インダストリー・コンソーシアム(略称:ASPIC、東京都品川区西五反田、会長:河合輝欣)は、共同で、CSAクラウド・セキュリティ・ガイドンス ver. 1.0.(以下、クラウド・セキュリティ・ガイドンスという)を、主として日本のクラウドサービスの提供者・利用組織(以下、便宜上、利用者という)に分かりやすく理解してもらうために、「解説クラウド・セキュリティ・ガイドンス」を作成し、平成22年12月16日から、一般に公開しました。

クラウド・セキュリティ・ガイドンスは、Cloud Security Alliance がクラウド事業者に対する前向きで安全な関係を構築することができるような包括的なロードマップを、セキュリティ専門家として提供することを目標として発表したクラウド・コンピューティングを採用する組織における問題点・懸念事項と対処方法の概要です。このクラウド・セキュリティ・ガイドンスは、サービス提供者および利用者に対する手引きとしての性格を持っていますが、これを利用者の視点から、導入に際して参考になる点についてまとめたのが、「解説クラウド・セキュリティ・ガイドンス」になります。この「解説クラウド・セキュリティ・ガイドンス」は、「導入・実装ハンドブック編」と「法律問題編」から構成されています。「導入・実装ハンドブック編」は、クラウド・コンピューティングの利用・導入に際してITポリシーおよびマネジメントシステムのなかになにかにクラウドサービスを位置づけて構築するかという点に関する解説を行い、また、「法律問題編」は、クラウド・セキュリティ・ガイドンスが背景としている米国の法律知識をあまり持っていない読者においても、クラウドサービスの導入に際して問題となるコンプライアンスの問題について深く理解してもらうことをこころがけています。

この解説書は、CSAJCの活動を支えるLinkedInの電子掲示板でなされた議論をもとにASPICの支援をもとにまとめたものです。利用者の現存するセキュリティ・マネジメント体制にどのようにクラウドサービスを統合していくかという観点からの議論を盛んにするものとして利用されることを望んでいます。

解説書は、以下の URL をご覧下さい。(両者 同一)

<http://www.cloudsecurityalliance.jp/report/10kaisetsu.pdf>

[http://www.aspicjapan.org/img/pdf/csa\\_final.pdf](http://www.aspicjapan.org/img/pdf/csa_final.pdf)

本件に関するお問い合わせ先

ASPIC

事務局 事務局長: 檜垣

e-mail: [office@aspicjapan.org](mailto:office@aspicjapan.org)

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-3-1 たつみビル2F

TEL: 03-6662-6591 / FAX: 03-6662-6347

日本クラウド・セキュリティ・アライアンス(略称、CSAJC)

Cloud Security Alliance のサブグループとして、日本におけるクラウド・コンピューティングに関するセキュリティ問題についての考察とベストプラクティスの普及を目標として平成22年6月に設立。LinkedIn における電子会議室を活動の基盤とする仮想的なセキュリティプロフェッショナル達のグループ。